

山行報告書

報告 2002年2月13日

山名・山域	硫黄岳・八ヶ岳	目的と方法	硫黄岳、本沢温泉
登山期間	2002年2月9日(土) ~ 2月10日(日)		1泊2日(小屋泊)
メンバー	C L 内田 真	S L 中根 武司	記録 畑 講平
	金原 和子	宮城 勝江	深谷 貞夫 古和田 光子



本沢温泉の野天風呂

しらびそ小屋



日程	コース
2/9(土)	岡崎(600) === 平谷道の駅(725,730) === 座光寺PA(815,820) === 諏訪湖SA(900,910) === 小淵沢 I C (935) === 松原湖分岐(1035) === 稲子湯温泉 === 唐沢橋ゲートPKG(1055,1125) --- しらびそ小屋(1310,1320) --- 本沢温泉(1440)
2/10(日)	本沢温泉(745) --- 夏沢峠(915,930) --- 硫黄岳(1050) --- 夏沢峠(1125,1145) --- 本沢温泉(1215,1245) --- しらびそ小屋(1355,1410) --- 唐沢橋ゲートPKG(1520,1530) === 稲子湯温泉(1535,1635) === 郷土料理ふるさと(1720,1800) === 小淵沢 I C (1835) === 飯田IC(2000) === 平谷道の駅(2035,2045) === 岡崎(2210)

記録・感想
<p>【2/9(土)、晴れ時々曇り】</p> <p>稲子湯手前から雪道になる。唐沢橋ゲートまで車で入れる。駐車は10台余り可能。屏風橋を渡り左折、駒鳥沢左岸に沿って詰めていく。しらびそ小屋から本沢温泉までは明るい林の中を縫って行く気分の良いコース。</p> <p>【2/10(日)、曇り時々小雪、-10】</p> <p>本沢温泉野天風呂を川原に見つける。ここは”後のお楽しみ”に残りずは夏沢峠に向かう。高度を稼ぎ振り返ると浅間山の裾野だけが見える。上は既に雪雲の中である。夏沢峠は風も吹かず穏やかな所である。アイゼンを装着し目出帽を被りオーバーヤッケのフードを立てて硫黄岳に向かう。樹林帯を抜けるとやはり強風が吹いていた。ケルンを目印に余り左手に寄り過ぎないように注意しながら山頂を目指す。温度計は-12を指していたが、体感温度はもっと低いだろう。夏沢峠から1時間20分、硫黄岳に到着する。冷えきったデジカメは機能せず記念写真は撮れなかった。残念！本沢温泉への帰路、”気になる”野天風呂”に立ち寄り。登山道から川原の温泉を目指してシリセード！湯船の周りは雪だらけ、脱衣場所も無く吹き曝しの温泉のお湯は温めで、この時期に入るのは勇気がいりそう。シャクナゲの咲く頃に、再度、野天風呂の旅を企画して・・・と想い描きながら足取り軽く稲子湯に下山する。</p>